

2026年3月11日  
熊本電気鉄道株式会社

## 点呼時におけるアルコール検査実施漏れ事案について（お詫び）

弊社、熊本電気鉄道株式会社の辻久保営業所において、バス乗務員の乗務前後でのアルコール検査実施漏れの事案が社内調査により判明いたしました。

公共交通機関を担う事業者として、安全を最優先すべき立場にありながら、このような事態を招き、ご利用のお客様をはじめ、関係の皆様には多大なるご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。

今回の事態を厳粛に受け止め、再発防止に向けて全社を挙げて全力で取り組んでまいります。

なお、本事案の判明後直ちに原因究明を行い、業務手順見直しとルール厳格化、管理者によるチェック体制強化等の対策を行い、以降は検査漏れが無いことを確認しております。また、本事案については、関係当局への報告を行っております。詳細は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 事案の概要と発覚の経緯

2026年2月18日、社内調査において運行記録簿（点呼簿）とアルコール検知器の測定データに齟齬があることを確認されたため、速やかに同営業所における直近1ヶ月（2026年1月）の乗務員の点呼記録およびアルコール検知器の測定データの照合調査をしたところ、計77件（全5,273件のうち1.46%）の実施漏れが判明いたしました。

#### 2. 発生の原因

本事案が発生した主な原因としては、以下3点と判断しております。

##### ① 運行管理者による確認漏れ

社内ルールに定められた手順である、点呼時の運行管理者によるアルコール検知器の測定データ記録確認が徹底されておらず、未実施が発生した際にその場で是正されておりませんでした。

##### ② 管理職者による相互チェック機能の欠如

日々の点呼記録簿の記載内容と、アルコール検知器の測定データ記録を照合・確認する仕組みが不十分であり、未実施が発生した際に定期的なチェックによる是正する体制が整っておりませんでした。

##### ③ コンプライアンス意識の欠如

バス乗務員および運行管理者において、アルコール検査の重要性に対する意識が低下しておりました。

### 3. 再発防止策

- ① アルコール検査及び点呼時確認の業務手順見直しとルール厳格化  
アルコール検査実施時に検知器の測定データを運行管理者が対面で確認し、その記録紙を点呼の必須条件することで検査漏れ・確認漏れを防止。
- ② 管理職者によるチェック体制の強化  
点呼状況の事後検証として、管理職者が定期的に点呼記録簿と乗務員のアルコール検知の記録データを照合・確認し、不一致や漏れがないか厳格にチェックする管理体制を構築。
- ③ コンプライアンス教育の再徹底  
全乗務員および全運行管理者に対し、アルコール検査が安全運行の根幹であることを再認識させるための教育を実施いたします。また、全社員に対してのコンプライアンス教育を改めて実施いたします。
- ④ 内部監査機能の強化  
監査部門による運輸安全マネジメントに関する内部監査を強化し、法令に基づく業務履行がなされているか、記録データ等エビデンスに基づく監査を徹底いたします。

今回の事態を厳粛に受け止め、二度とこのよう事態を起さぬよう全社を挙げて、安全管理体制の再構築、信頼回復に全力で努めて参ります。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

熊本電気鉄道株式会社 総務部総務課 096-343-2526